

年頭 雑感

桜萩会会長 瀬戸山 孝一 (旧中十二回卒)



会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。御家族皆様御健康で新しい年を迎えられましたことと思ひます。

順みますと平成二年は大変な年で、消費税に始つて同連平和協力法(廃案)に終つた様なものでした。

この中で特に注目したいのは中東湾岸危機の発生によって吾が国の憲法が内外に重大な関心をもちたれたことである。

戦後四十五年の間護憲・改憲と議論のある中で憲法は着実に吾が国に根づいており、国際的にも日本には平和憲法があると認められてきておられます。

ここで私は愛国心とは何かと言ふことを考えてみたいと思ひます。読んで字の如く国を愛する心と言ふこととでは具体的に何を愛する心とはどう言ふものなのでしょう。

母校を愛する心、故郷を愛する心、この言葉には将に琴線にふれる響きがあり、何となく同郷、同窓の人と共有共通のものを感ずります。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。

生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

新年御挨拶

幹事長 永崎秀一郎 (高四回卒)

会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。御家族揃つて元気で新年を迎えられたことと拝察致します。

昨年中は桜萩会発展のため一方ならぬ御協力御支援を賜わり誠に有難うございました。お蔭をもちまして桜萩会創立十五周年総会も記念行事にふさわしく盛況の裡に開催されました。

これにも偏らぬに会員皆様様の温かい御理解の賜物と深く感謝している次第です。幹事一同を代表しまして厚く御礼申し上げます。

今年も創立二十周年へ向けての大仕事第百六回総会です。例年通り六月第一土曜日は日本倶楽部で開催することになっております。

多忙の中にも秋たけなわの九月に第五回ソフトボール大会を開催しました。熱戦を展開し心地よい汗をかくて楽しい一日を過ごすことが出来ました。

東西同窓会の親睦を深める東対抗ゴルフコンペも昨年に続き、

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

「あ、紅の血は燃える」と言ふ学生時代の記録誌の中に当時十四才だった中学生十名が米軍の空爆を受けて死んでいゝのです。その中の一人の生徒は爆撃でもぎ取られた自分の片足を持ちながら「天皇陛下萬歳」を繰返しながら血みどろになつて息絶えたとおられます。

我が国が敗戦を迎える日は、天皇陛下の為に神国日本の為に死ぬことが、愛国心の発露であると教育されて来ましたが、事実私達の世代の大部分の人はそうと信じ又数多くの若者達が中国やアジアの各地そして沖縄で死んで行ったのです。

桜萩会ソフトボール大会実施

安田昌弘 (高四回卒)

第五回桜萩会ソフトボール大会が九月三日の秋分の日に行なわれ、白粉ソフトボールに精鋭の方々が、東急東横線の大倉山駅近くの大山山グラウンドに集まりました。

数、やや不足ながらも*人。足りない分は、桜萩会員のお友達が助つたことになりました。

試合後、会の運営で長年ご苦労いたしている水崎幹事長と村田副幹事長のチームに分かれて試合が始まりました。

先任から推察して、皆さん仕事に油の乗った方々ばかり。運動不足も当然のことです。

息が切れます。バットも重く感じます。ボールさえもかすみます。

先任した村田チームを中盤になって水崎チームが激しく追い上げる試合展開になりました。

高校総体宮崎大会のスターガンを、本校三年上マリさんの応募作「夢さめいて、宮崎の空の下」が選ばれたことです。

合会場になることもあわせて、いろいろの面で参加協力できることを嬉しく思う次第であります。

即位の礼が終り、いよいよ平成の時代になったことを実感いたします。本年は小林高校にとつても創立七十周年にあたります。

行年七十七歳になりました。記念行事を挙げるにあたり、皆様いろいろのご協力を仰がねばなりません。

何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、桜萩会の益々のご発展を祈念して年頭の挨拶といたします。

文芸春秋(十二月号)で、昭和天皇の独白録を読んだ。あれは昭和二十一年の六月頃だったか、私たちは陸軍士官学校の卒業を控えて宮城に行った。そのころ皇居の樹木もあちこち焼けて、建物の中にも焼失したものがあった。

私たちが整列した正面には四、五段のお立ち台があった。祈くすると、陛下がお見えになってお立ち台に立たれた。私たちは一斉に敬礼をした。陛下は敬礼をして、黙つてお立ち台から降りて行かれた。私は敬礼をされる陛下の顔を凝視していた。

顔は真っ白で、あるいは、病後のあの真つ青な顔というべきか、私たちが日が焼けて真黒だったの、そう思ったのかも知れない。

しかし、陛下とはこんな真白な顔をしておられるのかそう思った。陛下は最初から最後まで無言であった。私にはそれが、一瞬不満として残った。

私たちはそれから本主決戦を期して一斉に全国に散った。丁度二十歳の時であった。

独白録を読むとこの頃陛下は戦争終結の決心をされたようである。そしてわれわれは今生きている。

先輩の方々から、十回卒は出席率も悪く幹事もいまだに引受けていないとお小言で万事窮す、本年はどうしてもお世話役をせねばならぬ、俄か幹事役ばかりでスタート致すことになりました。

年頭早々に第一回の打ち合せを開いたのはよいのですが、三十余年前の紅顔の美少年・美少女は老眼鏡越しにメニューを覗き、食い気ばかりの中年のおじさん・おばさんに変身しておいまして。

企画の話などすっかり忘れ昔話に花が咲き時間ばかりが無情に過ぎて行き、次回の会合の日時を決めただけでお開きとなりました。

二回・三回と会を重ねるうちに、どうやら企画らしきものが少しづつ、出来上つてきました。

テーマに、去年、あわや優勝かと久しぶりに私達の胸を躍らせてくれた「駅伝」をとりあげることにしました。

永年、駅伝部の監督として全国に小林高校ここにありと有名にして下さいました外山先生をお招きして、講演をして戴いた企画は、とりわけグッドアイデアだったと自負致しております。

お話の内容もさることながら、先生や先生の奥様(彼女は十回卒です)を慕つて出席下さいました後輩の方々のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

『第十五回桜萩会に外山先生をお招きして』

十回卒幹事 尾崎なつき (旧姓長谷川)

先輩の方々から、十回卒は出席率も悪く幹事もいまだに引受けていないとお小言で万事窮す、本年はどうしてもお世話役をせねばならぬ、俄か幹事役ばかりでスタート致すことになりました。

年頭早々に第一回の打ち合せを開いたのはよいのですが、三十余年前の紅顔の美少年・美少女は老眼鏡越しにメニューを覗き、食い気ばかりの中年のおじさん・おばさんに変身しておいまして。

企画の話などすっかり忘れ昔話に花が咲き時間ばかりが無情に過ぎて行き、次回の会合の日時を決めただけでお開きとなりました。

二回・三回と会を重ねるうちに、どうやら企画らしきものが少しづつ、出来上つてきました。

テーマに、去年、あわや優勝かと久しぶりに私達の胸を躍らせてくれた「駅伝」をとりあげることにしました。

永年、駅伝部の監督として全国に小林高校ここにありと有名にして下さいました外山先生をお招きして、講演をして戴いた企画は、とりわけグッドアイデアだったと自負致しております。

お話の内容もさることながら、先生や先生の奥様(彼女は十回卒です)を慕つて出席下さいました後輩の方々のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

先輩の方々の、先生や先生のお蔭で、今年も平均年齢が相当下つたと密かに喜んでおります。

瀬戸山孝一 (旧中十二回卒)
〒104 三鷹市下連雀一丁目二一三
電話 〇四三三 四八七三三五

株式会社 ノックス
取締役会長 森祐一郎 (旧中十五回卒)
代表取締役社長 入村正
〒209 千葉県八日市場みどり平十二一
電話 〇四七九 七三三六〇〇
FAX 〇四七九 七三三五六七

弁護士 立野輝二 (旧中十七回)
事務所
〒101 東京都千代田区神田駿河台
三丁目一番地日光ビル4階
立野輝二法律事務所
電話 〇三三 三三九一九四六五

代表取締役 西田忠司 (高五回)
〒104 東京都大田区東横谷五丁目二七
電話 〇三三 七五六一六四一

株式会社日高設計企画
代表取締役 日高省三 (高二回)
一級建築士宅地建物取引主任者
〒166 東京都杉並区高円寺北
電話 〇三三 三三二二二六
FAX 〇三三 三三二二二八五

代表取締役 大津金属工業株式会社
代表取締役 西田忠司 (高五回)
〒104 東京都大田区東横谷五丁目二七
電話 〇三三 七五六一六四一

代表取締役 日高省三 (高二回)
一級建築士宅地建物取引主任者
〒166 東京都杉並区高円寺北
電話 〇三三 三三二二二六
FAX 〇三三 三三二二二八五

小林高校同窓会ゴルフ大会開催 第七回東西対抗戦(高千穂会—桜萩会)

東軍二連勝を飾る

恒例の東西対抗戦が仲秋の十月十日、治市の日清都カントリークラブで開催された。

前日は治市川沿いの風光明媚な場所にある「亀石楼」に六時半に集合し、前夜祭が催され、焼酒を酌み交わしながら、一年ぶりの再会と懐しい郷里の話に花が咲きました。

当日は秋晴れの素晴らしいゴルフ日和に恵まれ、眼下に美しい京都および宇治市街を望んでのプレーとなりました。

参加者	
東軍	西軍
木下剛 柳敏行	小倉 勲
永岡清晴 佐々木寅二	倉蘭貞夫
福沢尚 神保英俊	芝原将文
肥後昭七郎 永田義男	二木隆
永迫博司 丸山雅夫	渡辺浩
	原丸山 邦夫
	弓削幸治



出陣を前に全員で記念撮影

団体戦		個人戦	
東軍	優勝	健高	健高
西軍	四位	猪福	猪福
	五位	伊沢	伊沢
		大司	大司
		邦正	邦正
		岡道	岡道
		原松	原松
		優三位	優三位
		優二位	優二位
		優一位	優一位

「ふるさと小林地方の物産」

宮崎県東部物産観光所長長沼武之(宮崎市出身)の「ひむか白慢みやぎ展」が開かれました。

果内八十八の業者が、値段の高いものでは、小林産の一面、千八百円、四の木柵基盤から一個百円のから芋、団子まで幅広く展示販売を行っています。

各業者とも懸命に販売された結果、前年を大きく上回る売り上げとなり、大盛況でした。

しかしながら、小林地方の物産は意外と少なく、木柵基盤の一部と青果物でした。

この中で、須木の栗と、北・西諸県地方で主に生産される石川芋が品質の良さと安値で飛ぶように売れました。

また、今回は永年東京で活躍されていた須木村出身の黒木同昭さんが

「TOMORROW/明日」をつづった同一人物が次にチャンバラをとるといふのも、人によればいさ、か無節操に思われるかもしれませぬ。しかし作り手の心のなかではごく自然なこと、これは小説と違って映画には大金がかかります。この企画を実現性の濃いものとしてあたえられた場合、とりあえずチャンスを生かしたいと思うのも人情であります。

第一作は昭和二年、山上伊太郎という天才的ライターとマキノ監督によって作られました。つまりリメイクというわけですね。そしてリメイクに傑作なし、といわれるのも映画史の教えてくれているところですよ。やはりわたしも迷ったのです。やるべきか否か。そして決断しました。

第一作のオリジナルシナリオは残っていますが、肝心のフィルムは現存しておりません。幻の傑作というわけですね。その幻というところにかけてわたしなりに新しい「浪人街」が作られ

映画「浪人街」によせて

(仮題) 黒木和雄(高二回卒)

「浪人街」の山来を確かか小学高学年のころ、学芸会で古老に扮した。豊田秀吉が朝鮮征伐で出兵する折、久藤城一のくだけだけをかすかに思い出す。

四百年も前のこの秀吉が朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)で話題になるとは予想していなかった。超党派の議員さんの訪朝団に同行、取材したのが昨年十月金丸元副総理が金日成主席と会談して一月月たつて日朝関係に風穴が開いたばかりとあって歓迎される。

この会談の場所は首都平壤から東北百五十キロの名勝地・妙香山、紅葉が美しく、箱根にも似ている。妙香山普賢寺は一千年前の開山。招請側の朝鮮対外文化連絡協会の幹部が説明した。

「朝鮮戦争を遂行した米大統領トルーマンと並んで、秀吉は『悪人』の一人なのです」

学院の大半は朝鮮戦争で焼け戦後、

YOSHIO HARADA · KANAKO HIGUCHI · RENJI ISHIBASHI · KUNIE TANAKA · SHINTARO KATSU in "RONINGAI" A film by KAZUO KUROKI

浪人街

黒木和雄 監督作品

と思いたちました。撮影所は京都太秦の京都映画スタジオ、スタッフに時代劇の傳統を守ってきた優れた人々の参加をえました。カメラマン宮川一夫氏もその一人です。配役には親しい原田芳雄、石橋蓮司さんたち、それに勝新太郎さんにも出てもらいました(彼は後に封切延期の事件を起しましたが)びっしりつまったスケジュールを夏の二ヶ月でこなし無事クランクアップしました。楽しい仕事でした。幕末の江戸の下町そこに生きる浪人達に託して、友情というもののありかた、それを男同士だけではなく、男と女の間にも成立する人間の絆の深さとしてえがいてみたかったのです。それにあくまで娯楽映画としての結構は崩さないようにと欲はってみました。さてどこまでわたしの思いがうまくいったのか。それは当然観客の皆さんのご感想をお待ちすることではかわたし自身には伝ってきません。どうか機会あれば「浪人街」をご笑覧くださいませようお願いします。

北朝鮮見聞記

竹之下勝民(高八回卒)

そびの市「加久藤」の山来を確かか小学高学年のころ、学芸会で古老に扮した。豊田秀吉が朝鮮征伐で出兵する折、久藤城一のくだけだけをかすかに思い出す。

四百年も前のこの秀吉が朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)で話題になるとは予想していなかった。超党派の議員さんの訪朝団に同行、取材したのが昨年十月金丸元副総理が金日成主席と会談して一月月たつて日朝関係に風穴が開いたばかりとあって歓迎される。

この会談の場所は首都平壤から東北百五十キロの名勝地・妙香山、紅葉が美しく、箱根にも似ている。妙香山普賢寺は一千年前の開山。招請側の朝鮮対外文化連絡協会の幹部が説明した。

「朝鮮戦争を遂行した米大統領トルーマンと並んで、秀吉は『悪人』の一人なのです」

学院の大半は朝鮮戦争で焼け戦後、

事務局だより

もう平成三年になってしまった。月日のたつのは早いものどつくづく思う。今、四月の新社員教育の講義の研究会をやっている。小林から就職した連中は敬語等ちゃんと使っているかと心配になる。どこかに集めて教育をしてあげたいと思ったりする。又ボランティアの方でイリビンの山の中の村おこし等手伝っている、小林も、もつと有名なのは星ばかりでなく何か産業等考えなくてはいけないのではないかと思ったりする。

桜萩会の名簿もそろそろ作る時期になって来ました、それらの年次の名簿があったら事務局送って下さい。又面白い話や皆に知らせたい話等ありましたら原稿を送って下さい。平成三年が皆様にとってお幸せな年でありませう様お祈り致します。



編集後記

早くも平成三年目の新年を迎えました。昨年は中東情勢の緊迫化等内外共に変化の多い年でありました。今年も平和な年でありませう様祈るのみです。

桜萩会便り第十七号。多方面より原稿を頂いた皆様に感謝しますと共に、広告等の御協力に対し厚く御礼申し上げます。

紙面は新年挨拶を中心に母校の現状、スポーツ等を編集致しました。いつもお願いすることですが、会員皆様の自発的な原稿をお寄せ下さい。各年度の同期会の近況等をお知らせ頂ければ幸いです。そして会員皆様と共に桜萩会便りの発行を継続していきたいと思っております。

最後に皆様の御健康と御多幸をお祈り致します。

編集担当 永崎秀一郎(高四回) 石渡浩子(高五回)

あけましておめでとうございます

<p>宮崎県の若人たちによる HIC工場 株式会社 エム・エレクトク 代表取締役 山下光正 (高五回) 本社 東京都中央区八重洲 電話(〇三) 三三二七二四〇〇 宮崎工場 宮崎県東諸郡高岡町二七一 電話(〇九八五) 八二二三九三二</p>	<p>株式会社 恒陽 (高八回) 代表取締役 大坪彪一郎 本社 東京都新宿区百人町 電話(〇三三三) 三三六二七二一</p>	<p>株式会社 上武 本社 浦和市白根七七一 電話(〇四八八) 五二一五六八 有坂久美子(旧姓後藤) (高九回)</p>	<p>株式会社 河野幸子 (高六回) 本社 新宿区歌舞伎町一三二七 電話(〇三三三) 〇九一五三三〇</p>	<p>株式会社 瀬戸口千枝子 (旧姓佐藤) (高十一回) 本社 草加市高砂二一九一 電話(〇四八九) 二八二五二二五</p>	<p>株式会社 大原幸子 (高六回) 本社 新宿区歌舞伎町一三二七 電話(〇三三三) 〇九一五三三〇</p>
--	--	---	---	---	---